

1 事業実施期間	令和8年4月 ～ 令和9年3月
2 事業実施計画	<p>① 在宅医療介護連携推進拠点の整備 在宅医療の推進・介護との連携に取り組む拠点の整備として、常勤職員4名（室長・専門職2・企画職）を雇用し事業を実施する。 ・東部医師会在宅医療介護連携推進室の設置（H27.4～）、東部地区在宅医療介護連携推進協議会（H27.2～）の運営</p> <p>②医療・介護関係者による協議会・WGの開催 ・東部地区在宅医療介護連携推進協議会（委員34名、開催3回予定） ・3WG（総合企画、研修支援、住民啓発） 部会・チーム等（絆研修ブラッシュアップチーム、 <u>身寄りない高齢者支援等</u>） <u>※課題に応じWG、チーム、部会の再構築を検討</u></p> <p>③東部在宅医療・介護連携研究会（事例検討会）開催（4回）</p> <p>④多職種研修会“絆”（ブラッシュアップ）研修の開催（3回シリーズ） ・第11回：①退院支援、②生活支援、③終末期支援</p> <p>⑤病院、事業所、職能団体など関係者へのACP研修 ・ACPノート（ステップ③）実践研修会（1回予定） ・ACPステップ①啓発研修（各事業所、専門職向け）の実施</p> <p>⑥多職種の関係性づくり ・多職種連携強化のワールドカフェ研修、とみやすベースの開催</p> <p>⑦在宅医療・介護連携に関する（関係者からの）相談支援</p> <p>⑧地域住民への啓発活動（30回予定） ・地域共生、健康寿命、在宅療養、ACPについてACPノートを活用し啓発 ・ACP住民啓発（セミナー形式）の開催</p> <p>⑨デジタルの活用・情報共有 ・医療・介護資源マップの運用継続（クラウドサーバー維持、データ保守） <u>医療・介護資源マップの全件再調査（11月頃）</u> ・ホームページ、SNS、YouTube活用による広報、情報発信の強化 <u>統計指標等の公表（ホームページ）</u></p>

	<p>⑩他機関・他分野との共催、連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーター養成研修(市保健所共催)</li> <li>・認知症・生活支援・地域共生・孤独孤立・健康づくり等他関係機関との連携</li> </ul>
<p>3 基本方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2040年を見据えた社会問題に対応した取り組みの強化・推進 (WG、チーム、部会の再構築)</li> <li>・PDCAを意識した事業の実施(4場面)</li> <li>・多くの多職種関係者が集う取り組みの実施</li> <li>・ACP普及啓発の強化(住民及び医療・介護分野への普及推進)</li> <li>・地域共生社会を視野に入れた他施策・関係機関との連携推進</li> </ul>